

核廃絶へ決意新たに

被爆80周年・原水禁広島大会

被爆80周年原水爆禁止
広島大会が8月4日～6日、広島市で開催されました。

初日は折鶴平和行進に約2000人が参加し、「核兵器廃絶」を訴えながら市内を行進。その後の開会式では、被爆者や海外ゲストが核廃絶と平和の実現への決意を表明しました。

2日目は分科会が行われ、被爆の歴史や原水禁運動の歩みを学ぶ講演に参加。第五福竜丸事件や映画「ゴジラ」を題材にした講談や落語を通じて、第二次世界大戦後の状況や核をめぐる社会情勢への理解を深めた。

最終日は国際シンポジウムで米韓の活動家や元広島市長の秋葉忠利氏らが討論し、核使用の危機



話芸で学ぶ「平和と核」
著語:古今亭菊千代 講談:田辺一乃



▲北海道の東端・納沙布岬で開かれた平和ノサップ集会

9月5日から8日にかけて、連合平和行動の最終行動である「平和行動in根室」が北海道・根室市で開催され、連合近畿ブロックから33人、府本部からは2人が参加した。

5日、台風15号の影響で、根室市に到着。道の駅おたいとうにて、北方領土返還を願う「叫びの像」を見学した。この像は「たとえ何代かかるとも取り戻す」という強い思いを込め、老女

が息子と孫を両脇に従え、「返せ」と叫ぶ迫力ある姿で表現されている。

6日は根室市総合文化会館で、北方四島学習会が開かれ、根室高校北方領土研究会の生徒から北方領土の歴史や現状について報告を受けた。生徒たちは「領土問題に関心を持ってほしい」と熱く訴えた。続いて映画「ジヨバンニの島」を鑑賞。北方四島で実際に起きた出来事を基に、第2次世

界大戦終結後の島での穏やかな暮らしや、ソ連軍の侵攻によって家や学校を奪われ一変していく様子が描かれ、現在も続く北方四島問題を考えさせられた。

7日には根室市・納沙布岬で「平和ノサップ集会」が開催され、全国各会が参加した。主催者を代表して連合の清水事務局長があいさつし、「ロシアによるウクライナ侵攻から3年半、日本政府

元島民の高齢化など問題は山積している。平和なくして私たちの暮らしも同経済活動の協議なども一方的に停止され、再開のめどが立っていない。

元島民の高齢化など問題は山積している。平和なくして私たちの暮らしも同経済活動の協議なども一方的に停止され、再開のめどが立っていない。

元島民の高齢化など問題は山積している。平和なくして私たちの暮らしも同経済活動の協議なども一方的に停止され、再開のめどが立っていない。



▲根室高校では部活で北方領土を研究



が高まる世界情勢を踏まえた具体的な展望を示した。まとめ集会では「ヒロシマ・アピール」を探査し、核兵器廃絶へ行動する決意を新たに3日間の大企画を締めくくった。

ノーベル平和賞を受賞した日本被団協の代表委員・箕牧智之氏の被爆体験や高校生平和大使の発言も共有され、未来へ継承する思いを確認した。

府本部は引き続き、平和の取り組みを進めていく。



保育現場のICT化とは?



京都保育集会を開催

ト・デメリット」について講演を受けた。

降幡さんは「保育士の仕事量が増えている原因の一つとして、子どもと関わらない事務仕事が増加していることが挙げられる。事務をICT化し、保育士の業務負担を軽減することは、保育の質の確保・向上につながり、最終的には、『子どもと向き合う時間の確保』につながる」などと説明した。

次にグループに分かれ意見交換を行った。I

CTを導入済み、または導入に向けた準備中の職場の悩みや人員不足の状況、ハラスマントや保育に関する各種研修の内容などを、多岐にわたって参考する。参加者は、同士で意見を交わし

た。

中でも、採用について

は、「保育技術は客観的に評価できるが、保護者との関係づくりの能力などは評価が難しい」とい

った課題や「集団行動が苦手であるが療育での対応までは必要じゃない子どもが増えているように思われる。家庭では歯止ばる一方で、園では歯止めが利かなくなってしまふ」といった意見が述べられていた。

う子どもも居て、保護者との間での課題共有に苦労しているなど、各職場の現状や課題について活発な意見があり、有意義な集会となった。



▲降幡真一さん

じちろうマイカー共済

自動車総合補償共済

団体割引は多くの組合員の利用と安全運転に支えられています。

契約者=組合員で家族の車も 団体割引30.0%*

2024年11月更新契約より(新規契約は2024年10月効力開始契約より)

主たる被共済者になれる方

①組合員本人

②組合員の配偶者

*別居の未婚の子も含まれます。

③組合員の同居の親族*

④組合員の配偶者の同居の親族*

現在ご加入の保険(共済)の適用等級や過去履歴によっては、契約をお引き受けできない場合があります。
※団体割引は、車種や補償内容により割引率が異なる場合があります。また、毎年11月時点の実績により変動することがあります。



こくみん共済 NEWS

5124A023

契約にあたってはパンフレットをご覧ください

不明な点があれば、まずは組合にご連絡ください。

こくみん共済(全労済) 全日本労働者共済生活協同組合連合会

自治労共済 推進本部

全日本自治労働者共済生活協同組合連合会

自治労共済推進本部は「アフの交通安全プロジェクト」に取り組んでいます。

「こくみん共済(共済)」は當利目的ない保険の生協として共済事業も営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員が皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地(先)の共済生活協同組合の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。